

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 5

(会社名・団体名等) **有限会社 ナベ企画**

連絡先等	(住 所) 〒320-0836 (担当部署等) ウッドバンクハウス事業部 (電話番号等) TEL : 090-1400-0263 FAX : 028-688-0883 (URL) http://www.woodbank-house.net
------	--

製品等の名称	クロスポールフェンス (間伐材パネルフェンス)	
製品・取組の概要	2016年の間伐材コンクールで特別賞をいただきました「クロスポール工法」が特許取得できましたので、この工法を利用した間伐材プロダクツの開発をしております。クロスポール工法は間伐材の屋外利用のために開発した工法です。接着剤を使わず間伐材に丸棒を貫通させ物理的に間伐材パネルを作り、パネル丸ごとの防腐剤加圧注入が可能となり、高耐久性の間伐材パネルを作ることができるようになりました。このパネルで間伐材ウッドフェンス作りしました。	
製品開発・取組のきっかけ	荒廃した人工林の木は小径木ですので間伐される木も小径木です。小径間伐材の建築資材の利用は困難とされ、建築資材の利用方法は確立されておられません。自社は23年前に高速道路に設置する間伐材遮音壁の設計の依頼を受け、これをきっかけに小径間伐材の防腐処理とパネル化に取り組み、建築資材としての利用技術を開発しております。	
製品・取組の内容・特徴	木の塀は軽量ですので、コンクリートブロックや石積の塀とは異なり地震時に崩落はしません。軽量ですので、簡易な基礎でも沈下をすることがないことから基礎のコストを大幅に削減することができます。防腐処理を行いパネル化した間伐材は、直接地中に埋設しても耐久性があり、間伐材パネルは構造材と仕上げ材を兼ねますからこの点でもローコストになり、高い塀を作っても可能で、地震時にも崩落はしませんから減災効果も抜群です。今年大阪北部で起きた地震でブロック塀の危険性が大きな社会問題となり、東京都の小池知事は、ブロック塀を撤去し国産材を利用した木の塀の採用を検討していますから、間伐材利用に弾みがつくのではないのでしょうか。	
間伐材の利用量	今年製作した間伐材フェンスの材積は、約10 m ³ です。	
取組による効果等	小径間伐材の多くが木質バイオマス利用となり価格を大きく下げてしまっています。小径間伐材をフェンスとして利用することで木の価値を高めCO2の固定にも貢献できます。木のフェンスは軽量で地震時にも崩落することがありませんので減災効果も期待できますから、デザイン性が高いクロスポールフェンスは、ブロックから木への転換を促進するのではないのでしょうか。	
製品等の写真、図表	 <p style="text-align: center;">写真1</p>	 <p style="text-align: center;">写真2</p>
	道路と家を隔てる目隠しを兼ねた高い2mのウッドフェンスです。60度の角材と45度の角材を交互にしたリブデザインです。	ウッドフェンスは軽量ですので大谷石の擁壁に負担をかけずに設置することができます。桧の芯付き材60度で製作